

デジタルオーディオ レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DAT
Digital Audio Tape

PCM-M1

主な特長

DATの優れた音質と操作性
音ゆれがせず、周波数特性に優れ、ひずみ、雑音の少ないリアルな録音 / 再生が可能です。また、高速の早送り / 巻き戻しや頭出しなど、操作性にも優れています。

コピー情報の設定
自分の演奏を録音したときなど、コピー情報(ID6)を設定することができます。

IEC958業務用フォーマットの入力が可能
コピー情報(ID6)を設定することもできます。

スタジオ録音に便利な各種機能

- スタートIDのオートモード時の検出レベルを設定できます。
- 最初の1回だけ、自動でスタートIDを書き込む、セミオート機能。
- 録音レベルの調節時に便利なピークホールド機能。

長時間録音

充電式ニッケル水素電池2本で、最長約3.5時間の連続録音が可能です。屋外での収録に便利です。

高音質マイク録音

スーパービットマッピングブアダプター
SBM-1にも搭載の高音質マイクアンプを採用しています。

録音レベルを手動 / 自動で設定可能
原音に忠実な録音ができるマニュアルレベル設定録音と、レベル設定が不要なオートレベル設定録音を、用途により使い分けることができます。

マイクリミッター

不意に大きな音が入ってきたとき、ある一定のレベル以上の音を自動的に抑えることができます。

3種類のサンプリング周波数に対応
デジタル機器からの録音時はSP(48kHz、44.1kHz、32kHz)およびLP(32kHz)に対応しているので、CD、MD、BS/CSなどからの録音が可能です。マイクやアナログ機器からの録音時はSP(48kHz、44.1kHz)またはLP(32kHz)が選べます。

スタートIDなどのアフレコ機能

スタートID、プログラム番号を後から記録したり、消したりできます。

暗いところでも動作状況を確認できる

ELバックライト付き液晶表示
動作状況や電池残量を液晶表示で確認できます。

液晶リモコン付きヘッドホン

本体をポケットに入れたまま、情報の確認、操作ができます。

録音についてのご注意

- 本機は業務用ではありません。改造して他の業務用音響機器などに接続したり、データ記録用に使用したりしないでください。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- デジタルオーディオレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。(お問い合わせ先 社 私的録音補償金管理協会 Tel.03-5353-0336)

正常な使用状態で本製品に事故が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

目次

各部の名称	4
アルカリ乾電池を入れる	10
時計を合わせる	11
カセットを入れる	12
録音する	14
再生する	17

録音

他の機器から録音する	20
アナログ出力(LINE OUT)端子のある 機器から録音する(アナログ接続)	20
デジタル出力端子のある機器から 録音する(デジタル接続)	21
録音レベルを手動で調節する	
—マニュアル録音	22
ピークレベルを見やすくする	
—ピークホールド	23
録音の便利な機能	24
長時間録音する LP REC	24
無音録音する	
レックミュート機能	24
コピー情報を設定する—ID6設定	25
スタートIDを記録する	26
録音中に記録する	
—マニュアルモード	26
初めの1回だけ自動で記録する	
—セミオートモード	27
録音中に自動で記録する	
—オートモード	28
再生中に記録する	29
スタートIDを消す	30
プログラム番号をつける	30

再生

他の機器につないで聞く	32
アナログ機器につないで聞く	32
デジタル入力端子のある機器に つないで聞く	32
再生中の便利な機能	33
AVLSを使う	33

電源について

充電式ニッケル水素電池で使う	34
電池を取り換える	35
低消費電力モードについて	36
家庭用AC電源や車で使う	37
家庭用AC電源で使うには	37
車で使うには	37

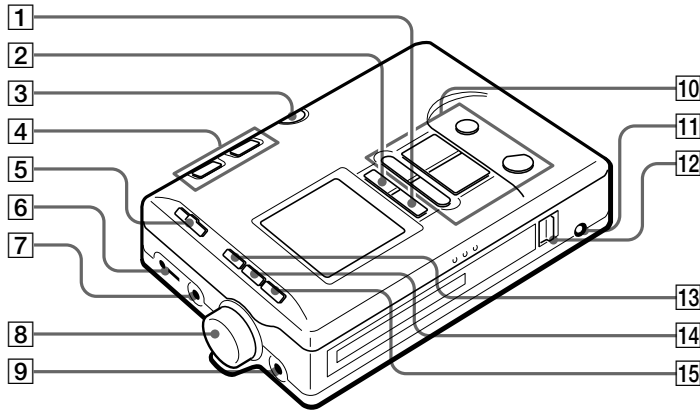
その他

その他の機器をつないで使う	38
アダプターキットRM-D100Kを つないで使う	38
スーパービットマッピングアダプター SBM-1をつないで使う	38
シリアルコピーマネージメント システムについて(SCMS)	39
メッセージ一覧	40
故障かな?と思ったら	42
使用上のご注意	44
長時間テープについて	44
結露について	44
置き場所について	44
異常や不具合が起きたら	44
お手入れ	45
表面の汚れについて	45
ヘッドのクリーニングについて	45
保証書とアフターサービス	46
主な仕様	47
索引	50

各部の名称

()内のページに詳しい説明があります。

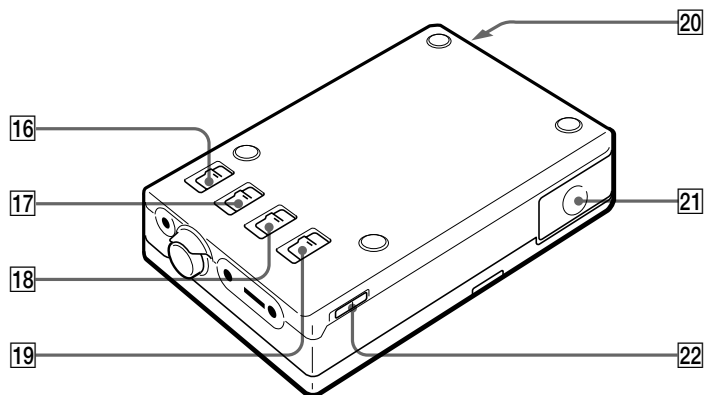
本体表面



- ① スタート START ID・MODE(スタートID 切り換え) モード ボタン(26~31)
- ② スタート START ID・ENTER(スタートID 入力) エンター ボタン(26~31)
- ③ ライト LIGHT(表示窓用照明) ボタン
本機を暗いところで使うときに押します。
照明を消すには、もう一度押します。
- ④ ボリューム VOL+、-(音量調節) ボタン(17、33)
- ⑤ ホールド HOLD(誤操作防止)スイッチ(13、36)
HOLD側にずらすと、なにかのはずみでボタンが押され、不必要な操作に切り換わってしまうことを防ぎます。録音/再生中は、常にHOLD位置にしておくことをおすすめします。ただし、CLOCK/SETボタン、COUNTER・-ボタン、RESET・+ボタンによる表示の切り換えは可能(低消費電力モードを除く)です。
また、電池使用時は、停止状態でHOLD側にずらすと、低消費電力モードになりクロック表示となります。
- ⑥ リモート REMOTE/☞(リモコン/ヘッドホン) ジャック(16、17)

- ⑦ ライン アウト LINE OUT(アナログライン出力)ジャック(16、32)
- ⑧ レコーディング レベル REC LEVEL(録音レベル調節)つまみ(22)
- ⑨ マイク ライン イン MIC/LINE IN(マイク入力/アナログライン入力)ジャック(14、20、22、24)
モノラル標準プラグのマイクをつなぐときは、付属のマイクロホンプラグアダプターをお使いください。
- ⑩ テープ操作ボタン(17)
◀◀◀ 巻き戻し/レビュー・AMS ボタン
■ STOPボタン
▶▶▶▶▶ プレイ
▶▶▶▶▶ 早送り/キュー・AMS ボタン
● レコーディング REC(録音) ボタン
● ポーズ PAUSE(一時停止) ボタン
- ⑪ オープン DC IN 4.5V(外部電源入力)ジャック(37)
- ⑫ リセット OPENつまみ(13)
- ⑬ カウンター RESET・+(カウンターリセット/時計合わせ、各種機能選択) ボタン(8、9、11)
- ⑭ クロック セット COUNTER・-(表示時間切り換え/時計合わせ、各種機能選択) ボタン(8、9、11)
- ⑮ クロック セット CLOCK/SET(時計表示/時計合わせ、各種機能切り換え、決定) ボタン(9、11)

本体裏面

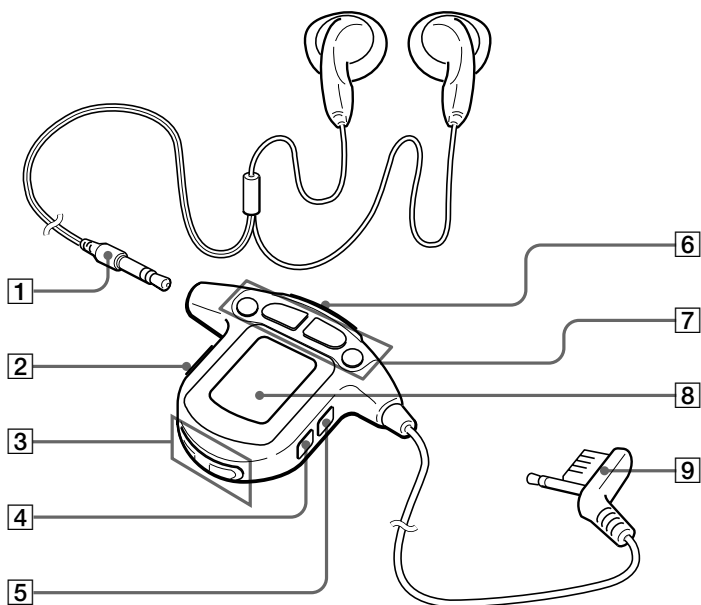


- 16 マイク アッテネーター MIC ATT(マイク感度切り換え)スイッチ
(15)
- 17 マイク ライン イン MIC/LINE IN(マイク/アナログライン入
力切り換え)スイッチ(15、20)
- 18 マニュアル MANUAL・MIC LIMITER・AUTO
(AGC)録音モード切り換え)スイッチ
(15、20、22)
- 19 SP・LP(標準モード/長時間モード切り換
え)スイッチ(15、21、24)

- 20 リモート デジタル REMOTE・DIGITAL I/O(デジタル入出
力)ジャック(21、32)
付属の接続ケーブルPOC-DA12Pまたは別
売りの接続ケーブルDA12MP/DA12SP、
RK-DA10P、アダプターキットRM-
D100K、リモコンRMT-D100、スーパー
ビットマッピングアダプターSBM-1などを
接続します。
- 21 電池ぶた(10)
- 22 AVLS(快適音量)スイッチ(33)

各部の名称(つづき)

液晶リモコン付きヘッドホン



① ステレオミニプラグ

カウンター
モード

② COUNTER MODE(表示時間切り換え)ボタン(8)

ボリューム

③ VOL+、-(音量調節)ボタン(17、33)

クロック

④ CLOCK(時計表示)ボタン(9)

⑤ AVLS(快適音量)ボタン(33)

ホールド

⑥ HOLD(誤操作防止)スイッチ(13、36)

矢印の方向にずらすと、リモコンのボタンが働かなくなります。ただし、COUNTER MODEボタン、CLOCKボタン、AVLSボタンは働きます。

⑦ テープ操作ボタン(17)

▶▶(早送り/キュー・AMS)ボタン

▶(再生)ボタン

■(停止)ボタン

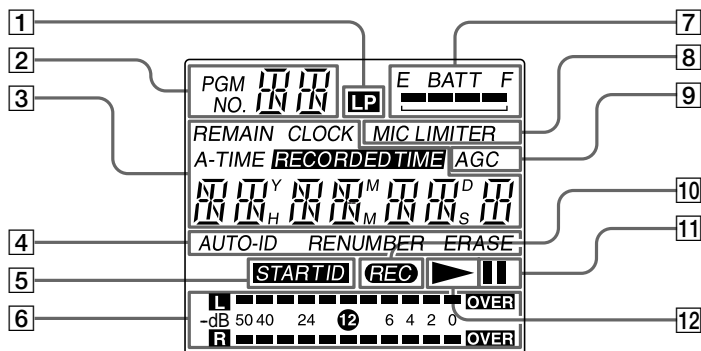
◀◀(巻き戻し/レビュー・AMS)ボタン

⑧ 表示窓

⑨ 接続プラグ

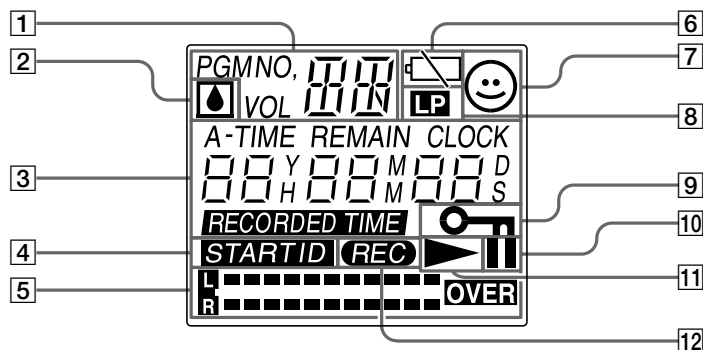
液晶表示窓

本体



- | | |
|--|-------------------|
| 1 長時間モード表示 (24) | 6 ピークレベルメーター (22) |
| 2 プログラム番号・曜日・AM/PM表示 (11、18) | 7 電池残量表示 (35) |
| 3 カウンター/クロック・各種機能/音量/メッセージ表示 (8、9、33、40) | 8 マイクリミッター表示 |
| 4 スタートID自動記録・消去・リナンバー表示 (26~31) | 9 AGC表示 |
| 5 スタートID表示 (26~31) | 10 録音表示 |
| | 11 一時停止表示 |
| | 12 再生表示 |

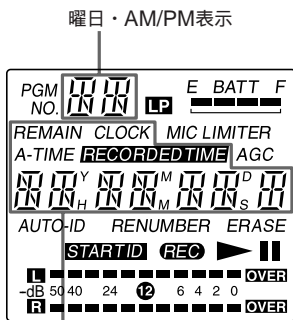
リモコン



- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1 プログラム番号・曜日・AM/PM・音量表示 (11、18) | 7 AVLS (快適音量) 表示 (33) |
| 2 結露表示 (44) | 8 長時間モード表示 (24) |
| 3 カウンター/クロック表示 (8、9) | 9 ホールド (誤操作防止) 表示 (13) |
| 4 スタートID表示 (26~31) | 10 一時停止表示 |
| 5 ピークレベルメーター (22) | 11 再生表示 |
| 6 電池残量表示 (35) | 12 録音表示 |

表示窓の見かた

本体



カウンター/クロック・各種機能設定表示

リモコン

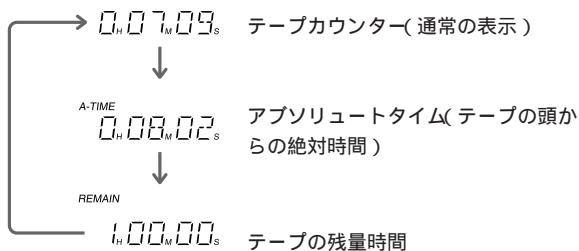


カウンター/クロック表示

□ カウンター表示

COUNTERボタン(リモコンではCOUNTER MODEボタン)を押すごとに、表示は次のように変わります。

例：本体表示



テープカウンターを「0H00M00S」に戻すには
テープカウンターが表示されているときに、本体のRESETボタンを押します。

テープの残量時間表示について
テープを再生し始めてから、標準モードでは約16秒後に表示されます。テープによっては表示に誤差が生じることがあります。

ご注意

カウンターは時計ではありません。
実際の時間とカウンター表示には誤差が生じますので、カウンターは時計がわりにせずあくまでも目安としてお使いください。

* 録音年・月・日と録音時・分・秒は再生時のみ表示されます。

ちょっと一言

- RECORDED TIME表示中に録音・録音モニター・録音一時停止になると、現在の時・分・秒が表示されません。
- 時計の12時間/24時間表示を切り換えるには、RESET・+ボタンを2秒以上押したままにします。

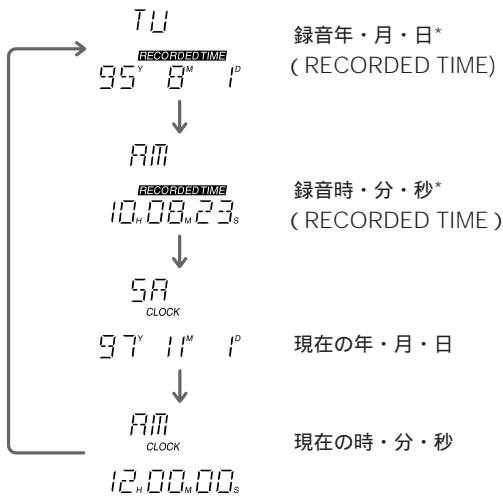
メッセージ表示について

「メッセージ一覧(40,41ページ)をご覧ください。

□ クロック表示

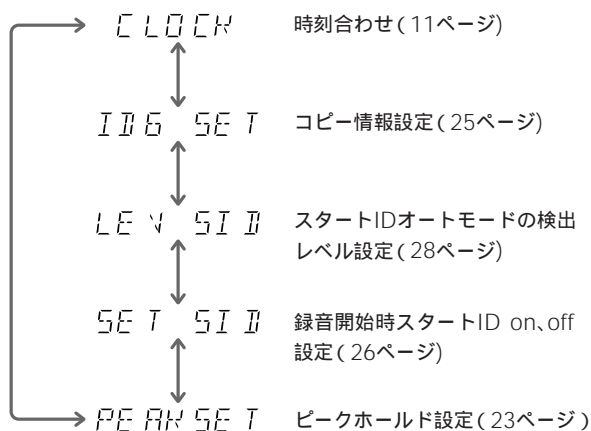
CLOCK/SETボタン(リモコンではCLOCKボタン)を押すごとに、クロック表示は次のように変わります。

例：本体の表示



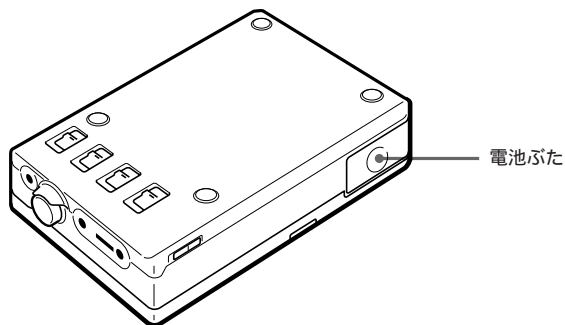
□ 各種機能設定表示

CLOCK/SETボタンを2秒以上押すと各種機能設定表示になります。RESET・+またはCOUNTER・-ボタンを押すごとに、表示は次のように変わります。



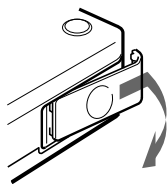
アルカリ乾電池を入れる

ここでは乾電池の使いかたを説明
します。



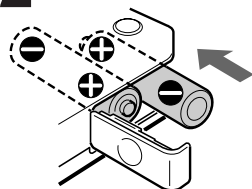
付属の充電式電池または家庭用電源(コンセント)で使うには→34、37ページ

1



電池ぶたを開ける。

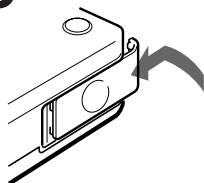
2



単3形アルカリ乾電池2本(別
売り)を入れる。

+、-の向きを正しく入れてください。

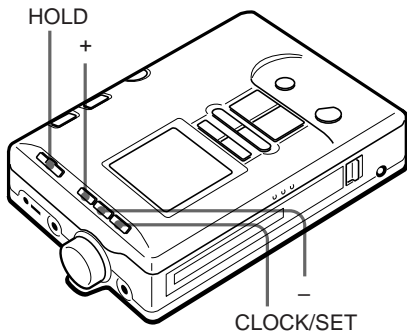
3



電池ぶたを閉める。

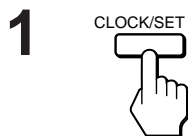
時計を合わせる

録音を始める前に、まず時計を合わせてください。時計を合わせていないと、正確な録音日時を記録できません。
乾電池を抜いたまま長時間放置すると時計は初期設定(SA/97Y11M1D/AM12H00M00S)に戻ります。この場合は、時計を合わせ直してください。

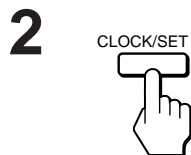


アルカリ乾電池を入れる / 時計を合わせる

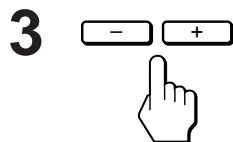
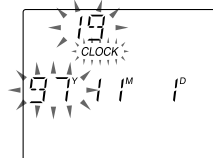
準備 カセットを入れて操作しているときは停止状態にする。HOLDは解除する。



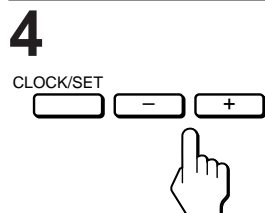
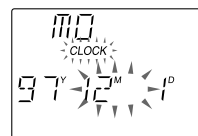
CLOCK/SETボタンを2秒以上押す。



「CLOCK」が表示されているときに、**CLOCK/SET**ボタンをもう一度押す。

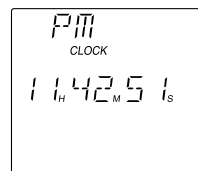


+、-ボタンで「年」を合わせ、**CLOCK/SET**ボタンを押す。



同様に「月、日、時、分、秒」を合わせる。

秒は、+または-ボタンを押すと「00」になります。**CLOCK/SET**ボタンを押すと点滅が止まり、時計が動き始めます。



ちょっと一言

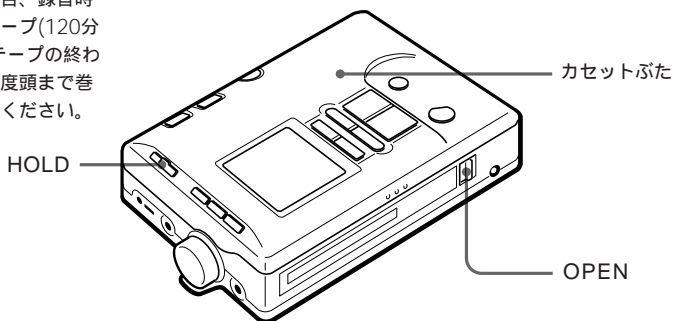
正確な時刻に合わせるには、手順4で「00」秒に合わせたあと、時報と共に**CLOCK/SET**ボタンを押します。

設定前に戻るには

■**STOP**ボタンを押します。元の時計表示に戻ります。ただし、日まで設定すると年・月・日・曜日は確定されます。

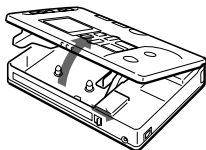
カセットを入れる

大切な録音をする場合、録音時間に余裕をもったテープ(120分まで)を、いったんテープの終わりまで早送りし、再度頭まで巻き戻してからお使いください。



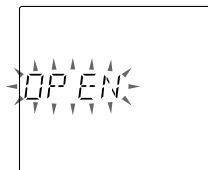
準備 → HOLDを解除する。

1

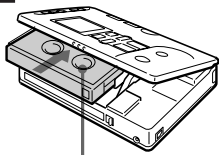


カセットぶたを開ける。

- ① OPENつまみをずらす。
- ② ふたが少し開いたらふたを開ける。



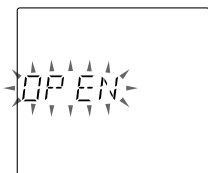
2



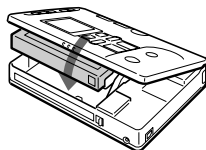
テープの見える面を上

カセットを入れる。

カセットは必ずテープの見える面を上にして入れてください。上下を逆に入れるとカセットが取り出せなくなることがあります。



3



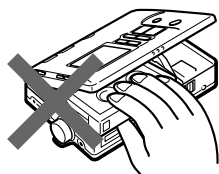
カセットぶたを閉める。

テープが自動的にセット(LOAD)されます。



ご注意

- 本体のホールド機能が働いているときは、カセットぶたは開きません。解除してからOPENつまみをずらしてください。
- カセットを出し入れするときは、上下をつまんで持たないでください。故障の原因となることがあります。



- 電源(電池またはACアダプター)は必ずカセットぶたを開けてから抜いてください。カセットぶたが開いた状態や、OPENつまみをずらした直後に抜くと、ぶたが閉まらなくなることがあります。この場合は電源を入れ直してください。

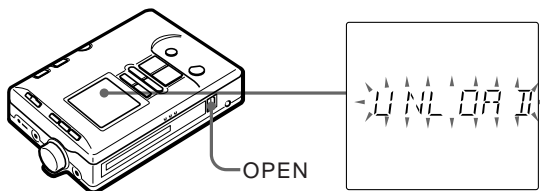
ちょっと一言

電池使用时、停止状態で本体のホールド機能を働かせると低消費電力モードに切り換わります。(36ページ)

*表示の切り換え、時計合わせ、AVLS機能の入・切のボタンは働きます。

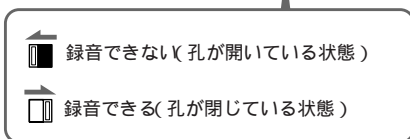
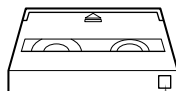
□ カセットを取り出すには

テープを停止させたあと、OPENつまみをずらします。



□ 誤って録音内容を消さないために

誤消去防止ツメを左へ動かします。



DATカセットについて

- アナログカセットとは異なり、再生と録音は片面しかできません。
- カセットは通常の使用では内部にほこりが入りにくい構造になっています。無理に内部を開けないでください。
- カセットの裏面の穴に物を入れしないでください。

□ 誤操作を防ぐために ホールド機能

本体: HOLDスイッチを黄色のホールドマークの見える位置にずらしておきます。ホールド時にボタンを押すと、

「HOLD」が約3秒間点滅し、本体のボタンが動かなくなります*。

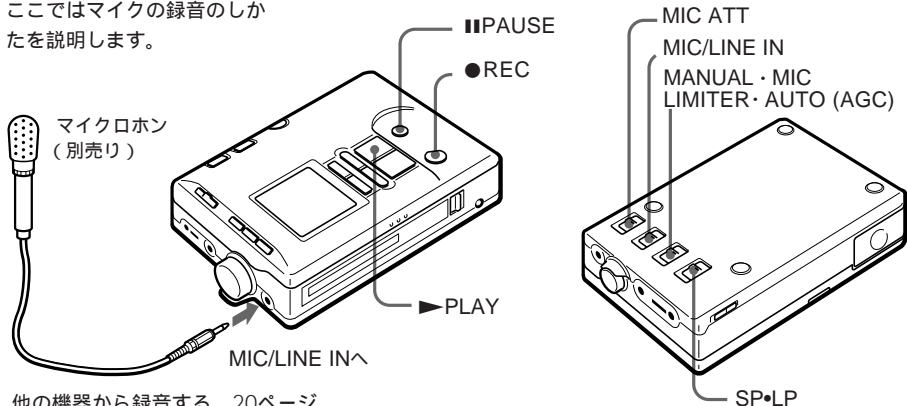


リモコン: HOLDスイッチを矢印の方向にずらします。表示窓に

→が点灯し、リモコンのボタンが動かなくなります*。

録音する

ここではマイクの録音のしかたを説明します。



他の機器から録音する 20ページ

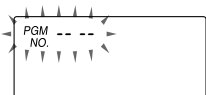
ご注意

次の場合、アブソリュートタイムが正しく記録されないことがあります。

- 未録音部分(一度も録音されていない部分)の途中から録音する。
- アブソリュートタイムの記録されていないテープに途中から重ねて録音する。

ご注意

- 「bLANK」と表示されているときに STOP ボタンを押さないでください。アブソリュートタイムが「-H-M-S」となり、それ以降記録されません。
- プログラム番号に「--」が点滅を始めたら、未録音部分です。◀◀ ボタンで「-」が点灯するまでテープを巻き戻してください。その後、再度▶▶▶ ボタンで録音終了位置を探してください。



□ 録音したい位置を探す

本機は、録音と同時に「アブソリュートタイム」を自動的に記録します。

アブソリュートタイムは、テープの頭からの位置を時間で示したもので、テープの頭からの経過時間を知りたいときに便利です。録音時は必ず録音開始位置(テープの頭から録音するときはテープの頭、途中まで録音済みのテープにつづけて録音するときは前回の録音終了位置)を探し、未録音部分を作らないようにしてください。一度記録されたアブソリュートタイムは消すことはできません。

無音録音部分を作りたいときはレックミューティング機能を使って無音録音をしてください。(24ページ)

テープの頭から録音するときは ◀◀ ◀◀ ボタンを押して、テープを巻き戻します。頭まで戻ると「TOP」が点滅します。



テープの途中から録音するときは ▶▶▶ ▶▶▶ ボタンを押します。録音終了位置を見つけると「bLANK」を表示し、録音終了位置で停止します。

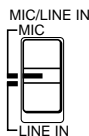


□ マイクで録音する

1

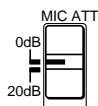
カセットを入れ、録音開始位置を探す。

2



MIC/LINE IN スイッチをMICにする。

3

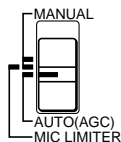


MIC ATT(マイクアッテネーター)を切り換える。

0dB : 通常はこの位置

20dB : 大きい音を録音するとき

4



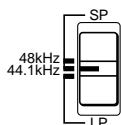
録音モードを選ぶ。

ここでは「AUTO (AGC)」を選びます。自動的に適切なレベル補正が行われます。

手動で調整するときは「MANUAL」または「MIC LIMITER」を選びます。(22ページ)

コピー情報を設定することができます。詳しくは25ページ「コピー情報を設定する」をご覧ください。

5

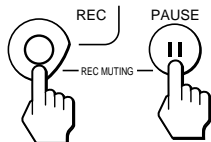


サンプリング周波数を切り換える。

ここでは「SP」(標準モード48kHzまたは44.1kHz)を選びます。

長時間モードで録音するときは「LP」を選びます。(24ページ)

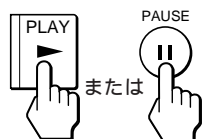
6



●RECボタンと||PAUSE ボタンを押す。

録音一時停止状態になります。●RECボタンだけを押しと録音モニター状態になり、録音は始まりません。

7



▶PLAY ボタンまたは||PAUSE ボタンを押す。

録音が始まります。

ちょっと一言

- テープが停止または再生状態のときに●RECボタンを押しながら▶PLAYボタンを押すと、すぐに録音が始まります。
- 録音、録音一時停止中にサンプリング周波数が切り変わったときは自動的に表示されます。録音中は切り変わったときに、一時停止中は次の録音が始まったときに表示されます。
- 録音一時停止状態が5分以上続くと、テープやヘッドの消耗を防ぐため、自動的に停止状態になります。
- 電池使用時、停止状態が3分以上続くと、テープや電池の消耗を防ぐため、自動的に低消費電力モード(36ページ)になります。
- テープの終わりまで録音されると、自動的にテープの頭まで巻き戻され、停止します。(オートリwind機能)

ご注意

- 電池使用時でも、録音モニター状態のときは低消費電力モードには切り換わりません。
- 録音中にサンプリング周波数を切り換えると、一時音がとぎれますので、できるだけ切り換えないでください。
- 録音中にMIC/LINE INスイッチを切り換えると、雑音が録音されることがあります。
- 表示窓用照明をつけたまま録音すると、雑音が録音されることがあります。その場合は照明を消してください。
- 録音モードがAUTO(AGC)のときに**OVER**が点灯するときは、MIC ATTスイッチを20dBにするか、マイクロホンを音源から離してください。

□ その他の操作

こんなときは	押すボタン
録音を止める	■STOP
録音を一時停止する	■PAUSE
録音一時停止を解除する	■PAUSEまたは▶PLAY

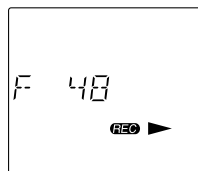
音源を確認する
(スタート IDオートモードの検出レベルが同時に点滅します。:28ページ参照)

録音、録音モニター、録音ポーズ中に●RECボタンを表示が出るまで押し続ける



サンプリング周波数を確認する

録音中に▶PLAYボタンを表示が出るまで押し続ける



録音中の音を確認するには
ヘッドホンまたはステレオ機器を、それぞれ本機のREMOTE/ΩジャックまたはLINE OUTジャックにつなぎます。

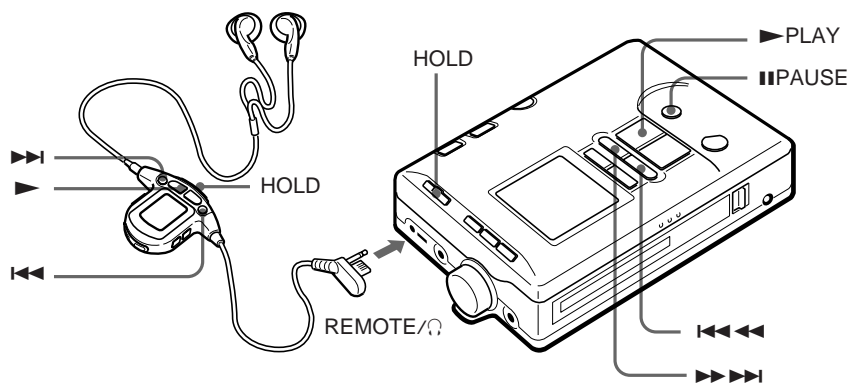
小さい音を録音するときは
録音レベルを下げ(マニュアル録音時)、マイクロホンをできるだけ音源に近づけて録音レベルを調節してください。雑音の少ない、きれいな録音ができます。

目的に合ったマイクロホンを選ぶ
録音の特性は、マイクロホンの性能によって左右されます。本格的な録音をするには、高音質のマイクロホンECM-MS957(別売り)またはECM-MS907(別売り)の使用をおすすめします。

使用できるマイクロホンについて

- プラグインパワー方式のマイクロホンもお使いいただけます。
- オートパワーサプライ方式のマイクロホンはお使いになれません。

再生する



他の機器につないで聞く 32ページ

録音する / 再生する

1

カセットを入れ、リモコン付きヘッドホンをつなぐ。

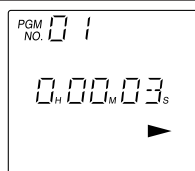
操作する側(本体またはリモコン)のホールを解除します。

2



▶PLAYボタンを押す。

再生が始まります。



ちょっと一言

- 標準モード(SP) 長時間モード(LP)は自動的に検出され、再生されます。SP・LPスイッチを切り換える必要はありません。
- テープの終わりまで再生されると、自動的にテープの頭まで巻き戻され、停止します。(オートリwind機能)
- リモコンで一時停止はできません。

ご注意

音量を上げすぎると音がひずみます。その場合は音量を下げてください。

□ その他の操作

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOL+、- (VOL+、-)
再生を止める	STOP()
再生を一時停止する	PAUSE
再生一時停止を解除する	PAUSEまたは▶PLAY (▶)
早送りする	停止時に▶▶▶▶(▶▶▶▶)
巻き戻す	停止時に◀◀◀◀(◀◀◀◀)

()内はリモコンで操作するボタン。

ちょっと一言

- 再生一時停止状態が5分以上続くと、テープやヘッドの消耗を防ぐため、自動的に停止状態になります。
- 電池使用時、停止状態が3分以上続くと、テープや電池の消耗を防ぐため、自動的に低消費電力モード(36ページ)になります。

ご注意

- プログラム(曲)の頭出しは、スタートIDが記録されていないとできません。(26ページ)
- 他のDATで録音したテープは、本機では正しく頭出しができないことがあります。

*AMSとは

Automatic Music Sensorの略です。

キュー/レビューをする

音を聞きながら早送り(キュー)、巻き戻し(レビュー)ができます。

キュー 再生中に▶▶▶▶ (▶▶▶) を押し続ける
指を離すと再生状態に戻る

レビュー 再生中に◀◀◀◀ (◀◀◀) を押し続ける
指を離すと再生状態に戻る

()内はリモコンで操作するボタン。

高速キュー/レビューをする

本体でのみできます。

高速キュー 再生中に▶▶ と▶▶▶▶ を押す

高速レビュー 再生中に▶▶ と◀◀◀◀ を押す

プログラム(曲)の頭出しをする AMS機能*

再生中、早送り/巻き戻し中、停止中のどの状態からでも頭出しができます。

再生中：▶▶▶▶ (▶▶▶) または◀◀◀◀ (◀◀◀) を短く押す

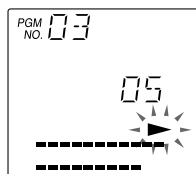
早送り/巻き戻し中：▶▶▶▶ (▶▶▶) または◀◀◀◀ (◀◀◀) を押す

停止中：▶▶▶▶ (▶▶▶) または◀◀◀◀ (◀◀◀) を2回押す

先のプログラムの
頭出し

例) 5つ先の
頭出し

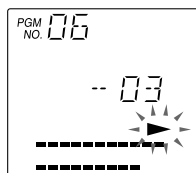
▶▶▶▶ (▶▶▶) をとばしたいプログラム(曲)の数だけ押す



前のプログラムの
頭出し

例) 再生中の
曲を含めた
4つ前の
頭出し

◀◀◀◀ (◀◀◀) をとばしたいプログラム(曲)の数だけ押す



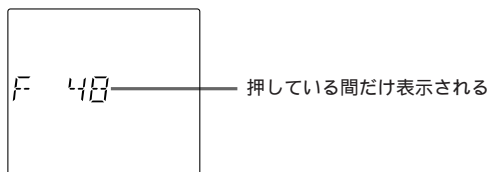
()内はリモコンで操作するボタン。

サンプリング周波数を確認する

録音されている音のサンプリング周波数を確認できます。

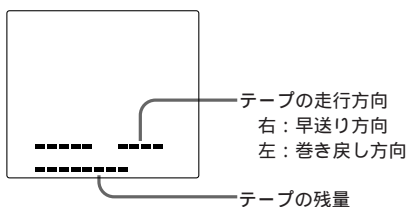
再生中に▶PLAYを押し続ける。

リモコンでも操作できますが表示は本体表示窓に出ます。



早送り / 巻き戻し、AMS 中の表示について

ピークレベルメーターのL側がテープの走行方向、R側がテープの残量を示します。



テープを巻き戻してから聞く

オートプレイ機能

本体のみでできます。

◀◀ ◀◀ ボタンを押しながら ▶PLAY ボタンを押すと、テープが頭まで巻き戻され、自動的に再生が始まります。

AMS機能を使って前のプログラムの頭出しをしている途中や、レビュー中にテープの頭になったときも、自動的に頭から再生されます。

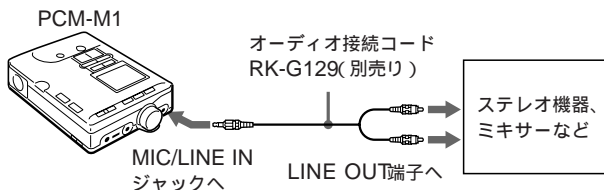
他の機器から録音する

アナログ機器やデジタル出力端子のある機器をつないで録音することもできます。
録音の操作の詳細は、「録音する」をご覧ください。(14ページ)

ちょっと一言

アナログ接続で録音するとき
は、コピー情報(ID6)を設定す
ることができます。(25ペー
ジ)

□ アナログ出力(LINE OUT)端子のある機器から録音する(アナログ接続)



- 1 MIC/LINE IN スイッチをLINE INにする。
- 2 録音モードを選ぶ。
MANUAL: 録音レベルを手動で調節してください。(22ページ)
AUTO(AGC): 録音レベルは自動的に調節されます。
- 3 サンプリング周波数を選ぶ。
SP(48kHz, 44.1kHz): 標準録音モード
LP: 長時間録音モード: 32kHzでサンプリングされます。
(24ページ)
- 4 ●RECボタンと ■PAUSEを押す。
- 5 ▶PLAYボタンまたは ■PAUSEボタンを押して録音を開始してから音源を再生する。

ご注意

- 別売りのデジタル接続ケーブルは必ず指定のものをお使いください(48ページ)。POC-DA12/DA-12M/DA12S、RK-DA10には本機は対応していません。
- 接続ケーブルのスイッチは必ず録音を開始する前に切り換えてください。録音中にスイッチを切り換えると、一瞬ミュート状態(無音状態)がかかります。

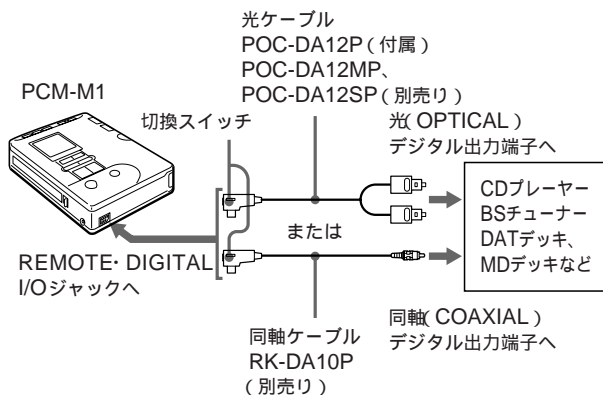
ちょっと一言

- デジタル接続して録音するときは一録音モードの設定は不要です。一録音レベルを本機では調整することはできません。自動的に音源側のレベルに設定されます。
- 本機はIEC-958業務用フォーマットの入力が可能です。その際、コピー情報(ID6)を設定できます(25ページ)。なお、AES/EBUフォーマットには対応していません。

ちょっと一言

SP・LPスイッチの設定は、32kHzの音源を録音するときのみ、行なってください。SP側にすると32kHz標準モード、LP側にすると32kHz長時間モードで録音されます。その他の音源のときは、SP・LPスイッチの設定にかかわらず録音音源のサンプリング周波数で自動的に録音されます。長時間(LP)モードでの録音はできません。

□ デジタル出力端子のある機器から録音する(デジタル接続)



- 1 接続する機器のデジタル出力端子に合わせ OPTICAL(光)または COAXIAL(同軸)ケーブルを使って接続する。
- 2 ケーブルの切換スイッチを「DIGITAL」に合わせる。
- 3 ●RECボタンと ■PAUSE ボタンを押す。
- 4 ►PLAY ボタンまたは ■PAUSE ボタンを押して録音を開始してから音源を再生する。

録音音源とサンプリング周波数

デジタル接続して録音するときは、録音音源によってサンプリング周波数は以下ようになります。

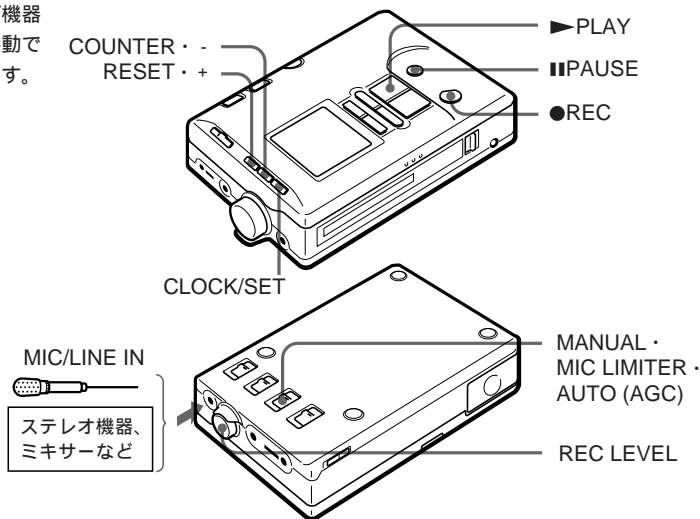
録音音源	サンプリング周波数
衛星放送の B モードの音声 DAT の標準録音モード	48 kHz
CD MD DAT の標準録音モード	44.1 kHz
衛星放送の A モードの音声 DAT の長時間録音モード	32 kHz

デジタルでバックアップをとるには

自分の演奏を録音したもののバックアップをとっておきたいときなどは、本機を録音側にして、デジタル接続で録音します。録音もとのコピー情報にかかわらず録音が可能で、コピー情報は SCMSに準拠します(25、39ページ)。

録音レベルを手動で調節する - マニュアル録音

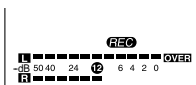
マイクロホンやアナログ機器から録音するときは、手動で録音レベルを調節できます。



* MIC LIMITERについて
不意に大きな音が入ってきても、ある一定のレベル以上の音を自動的に抑えるのがリミッターです。パーティーや会議の録音のとき、レベルを通常より少し上げ、録音モードをMIC LIMITERにしておくと、全体的に聞きやすい録音ができます。

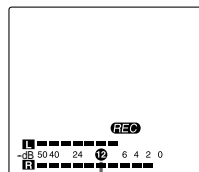
ご注意

ピークレベルメーターの **OVER** が点灯するときは、録音レベルの上げ過ぎです。録音レベルを下げてください。



また、**OVER** が消えていても音がひずむときは、MIC ATTスイッチを20dBにするか、マイクロホンを音源から離してください。

- MANUAL・MIC LIMITER・AUTO (AGC)スイッチをMANUALかMIC LIMITERにする。
MANUAL:アナログ機器またはマイクロホンから録音するとき
MIC LIMITER*:マイクロホンから録音するとき
- RECボタンを押し、録音モニター状態にする。
- 音源を再生して音を聞きながら、REC LEVELつまみを回して録音レベルを調節する。
ピークレベルメーターの⑩付近が点灯するようにREC LEVELつまみで調節します。大きな音が入力されても**OVER**が点灯しないように調節してください。
- RECボタンを押しながら ▶PLAYボタンを押して録音を始める。

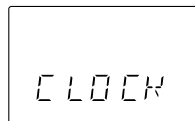


ピークレベルメーター

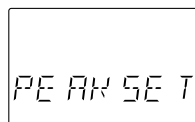
□ ピークレベルを見やすくする —ピークホールド

入力される音のピークを保持(ホールド)して表示します。音の最大レベルを正確に読み取ることができます。

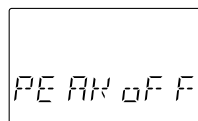
- 1 CLOCK/SETボタンを2秒以上押して、表示窓に「CLOCK」を表示させる。



- 2 RESET・+またはCOUNTER・- ボタンを繰り返し押しして「PEAK SET」を選ぶ。



- 3 CLOCK/SETボタンを押す。

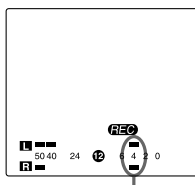


ちょっと一言

録音中にもピークホールド機能の設定ができます。

CLOCK/SETボタンを2秒以上押し、表示窓に「PEAK on」または「PEAK off」を表示させます。RESET・+またはCOUNTER・- ボタンで設定を選び、CLOCK/SETボタンで確定します。

- 4 RESET・+またはCOUNTER・- ボタンで「PEAK on」を選ぶ。
- 5 CLOCK/SETボタンを押す。
設定が確定され、クロック表示に戻ります。



ピーク値

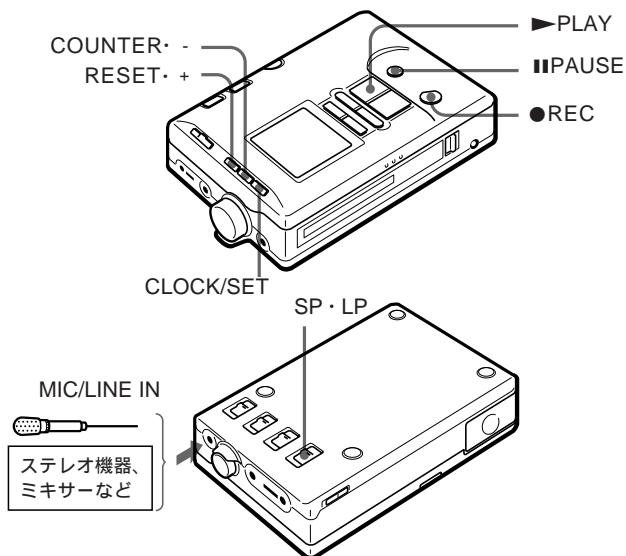
ピーク値は、現在表示されている値よりも大きな音が入力されるたびに更新されます。

ピーク値をリセットするには

テープカウンタが表示されていないときに、RESETボタンを押します。また、テープを取り出すと自動的にリセットされます。

録音の便利な機能

テープを2倍の時間で使ったり、録音の間に自動で無音部分を作れます。また、マイクなどのアナログ接続で録音するときコピー情報を設定できます。



ご注意

- 長時間モードで録音したテープは、標準モード専用のDATデッキでは再生できません。
- 標準モードから長時間モードに途中で切り換えて録音したテープを標準モード専用のDATデッキで再生すると、長時間モードに切り換わったところで大きな雑音が出ることがあります。雑音が出たときは音量を下げるかテープを止めてください。

ちょっと一言

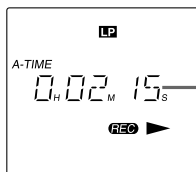
4秒以上の無音部分を作りたいときは、●RECボタンを押しながら■PAUSEボタンを押し、■PAUSEボタンのみ4秒以上押し続けます。レックミュート機能時間が4秒を過ぎると「■」表示の点滅が速くなります。■PAUSEボタンを離すと録音一時停止状態に戻ります。

□ 長時間録音する LP REC

SP・LPスイッチをLP側にして録音すると、録音時間がテープの長さの2倍になります。したがって60分のテープを使用すると120分の録音ができます。

長時間モード時のカウンター表示について

アブソリュートタイムやテープ残量時間のカウンター表示は、標準モードを基準にしています。したがって長時間モード時はカウンター表示の2倍が実際の時間となります。



長時間モード時の実時間は
4分30秒

□ 無音録音する レックミュート機能

テープの頭やプログラム(曲)とプログラム(曲)の間に無音部分を作れます。このとき、スタートIDは記録されません。

- 1 録音一時停止状態にする。
- 2 ●RECボタンを押しながら■PAUSEボタンを押す。
約4秒間の無音録音をしたあと、自動的に録音一時停止状態に戻ります。

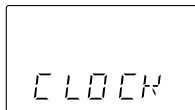
ちょっと一言

録音中に設定することはできません。録音の前に設定してください。

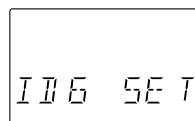
□ コピー情報を設定する ID6設定

マイクやLINE INなどアナログ入力や、IEC-958業務用フォーマットでのデジタル入力で録音する場合は、コピー情報を設定することができます。コピー情報は、DATのテープの中の内ID6という場所に記録されています。工場出荷時のID6設定は「00」です。

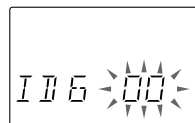
- 1 CLOCK/SETボタンを2秒以上押し、表示窓に「CLOCK」を表示させる。



- 2 RESET・+ボタンを押して「ID6 SET」を選ぶ。



- 3 「ID6 SET」が表示されているときに、CLOCK/SETボタンを押す。



- 4 RESET・+またはCOUNTER・-ボタンを繰り返し押して、希望のコピー情報を選ぶ。

ID6 00	何回でもコピー可能
ID6 10	デジタルコピーはできない
ID6 11	1回だけデジタルコピーができる

- 5 CLOCK/SETボタンを押す。
設定が確定され、クロック表示に戻ります。

コピー情報を確認するには

テープカウンターが表示されていないときに、RESET・+ボタンを押しながらCOUNTER・-ボタンを2秒以上押し続けます。以下の表示が出ます

録音、録音モニター、 録音一時停止中	これからテープに記録される コピー情報
再生、再生一時停止中	テープに記録されたコピー情報
停止中	コピー情報は確定していません

ID6 00 : 何回でもコピー可能です

ID6 10 : デジタルコピーはできません

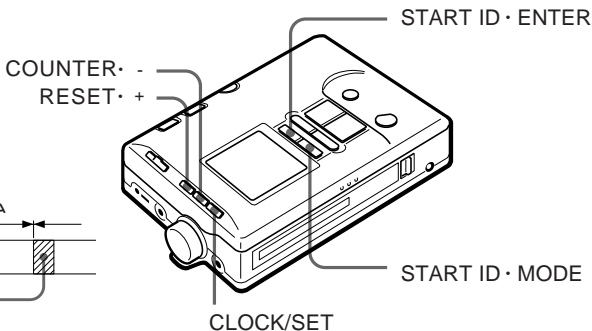
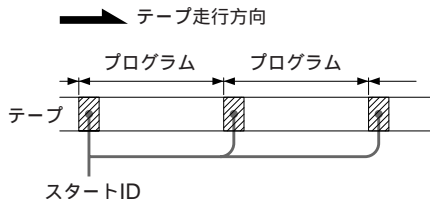
ID6 11 : 1回だけデジタルコピーできます

ID6 -- : コピー情報は確定していません。(停止中のみ)

表示を消すには、CLOCK/SET、RESET・+またはCOUNTER・-ボタンを押します。

スタートIDを記録する

スタートIDとはプログラム(曲)の頭を示す信号です。この信号を検出することで頭出しを行います。



ご注意

- CDからのデジタル録音は、使用するCDプレーヤーによってはCDの曲番情報がスタートIDとして記録されないことがあります。
- MDの曲番情報はスタートIDとして記録されません。

ちょっと一言

- 録音中、START ID・ENTERボタンを押すと、押した場所にスタートIDが記録されます。
- 録音、録音モニター、録音一時停止中にSTART ID・MODEボタンを押した場合は、マニュアルモードとオートモードの切り換えのみできます。

□ 録音中に記録する—マニュアルモード

以下の場合に記録されます。

- 録音開始または録音一時停止解除時(この設定は変更することができます。)
- 録音中にSTART ID・ENTERボタンを押したとき
- DATをデジタル入力で録音時、音源と同じ場所に記録される
- CDをデジタル入力で録音時、CDの曲番情報(Qコード)と同じ場所に記録される

1 表示窓に「AUTO-ID」が表示されていたら、START ID・MODEボタンを押して、表示を消す。

2 録音を開始する。

スタートIDが記録されると

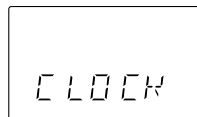
「WRITE」が一瞬点灯し、**START-ID** が約9秒間(LPモードでは約18秒間)点滅します。



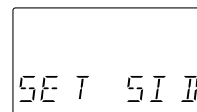
録音開始時スタートIDを記録しないようにするには録音開始または録音一時停止解除時に、スタートIDを自動で記録するか、全く記録しないかを設定することができます。

1 表示窓に「AUTO-ID」が表示されていたら、START ID・MODEボタンを繰り返し押し表示を消す。

2 CLOCK/SETボタンを2秒以上押し、表示窓に「CLOCK」を表示させる。



3 RESET・+またはCOUNTER・-ボタンで「SET SID」を選ぶ。



ご注意

- **START-ID** が点滅中は、
■STOPボタン以外は働きません。
- スタートIDを連続して記録するときは、次のスタートIDとの間隔を9秒(LPモードでは18秒)以上あけてください。間隔が充分でないと頭出しができないことがあります。

- 4 CLOCK/SETボタンを押す。

511 000

- 5 RESET・+またはCOUNTER・-ボタンで「SID on」または「SID off」を選ぶ。

SID on：録音開始時および録音一時停止解除時に自動で記録する。

SID off：記録しない。

- 6 CLOCK/SETボタンを押す。

設定が確定され、クロック表示に戻ります。

□ 初めの1回だけ自動で記録する—セミオートモード

マニュアルモード時に設定します。設定後、初めて音が入ってきたとき1回だけ自動で記録し、そのあとは、マニュアルモードに戻ります。テイクごとの頭出しをしたいときなどに便利です。

- 1 表示窓に「AUTO-ID」が表示されていたら、START ID・MODEボタンを繰り返し押して表示を消す。
- 2 START ID・MODEを「AUTO-ID」が点滅するまで押したままにする。

AUTO-ID

録音を始めて音が入ってくると、自動でスタートIDを記録します。

セミオートモードを解除するには
START ID・MODEボタンを押して、「AUTO-ID」表示を消します。

ご注意

オートモード時は、音源に雑音などがあるとスタートIDが正しく記録されないことがあります。

ちょっと一言

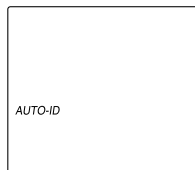
- 録音中、START ID・ENTERボタンを押すと、押した場所にスタートIDが記録されます。
- 録音、録音モニター、録音一時停止中にSTART ID・MODEボタンを押した場合は、マニュアルモードとオートモードの切り換えのみできます。

□ 録音中に自動で記録する—オートモード

入力される音のレベルに合わせて、自動で記録されます。以下の場合に記録されます。

- 録音開始または録音一時停止解除時(無音のときは、音が入ってきた時点で記録される)
- 無音部分や入力レベルが非常に小さい(工場出荷時: -50dB)部分が3秒以上続いたあと、音が入ってきたとき
- 録音中にSTART ID・ENTERボタンを押したとき

- START ID・MODEボタンを繰り返し押して、本体の表示窓に「AUTO-ID」を表示させる。

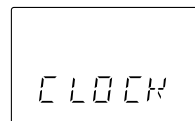


- 録音を開始する。
スタートIDが記録されると「WRITE」が一瞬点灯し、**START-ID** が約9秒間(LPモードでは約18秒間)点滅します。

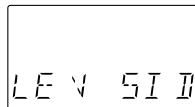
オートモードの検出レベルを設定する

スタートIDを自動で記録するときの検出レベルを設定することができます。工場出荷時のレベルは-50dBで、これより小さい音を無音とみなします。常に外部ノイズレベルの高いライブなどでも無音のレベルを設定することによって自動的にスタートIDを記録できます。

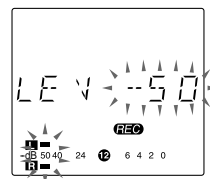
- CLOCK/SETボタンを2秒以上押して、表示窓に「CLOCK」を表示させる。



- RESET・+またはCOUNTER・-ボタンで「LEV SID」を選ぶ。



- CLOCK/SETボタンを押す。
レベルの数値とレベルメーターが点滅します。



ちょっと一言

- 検出レベルを確認するには、録音、録音モニター、録音ポーズ中に●RECボタンを表示が出るまで押します。設定されている位置でレベルメーターが点滅します。

ご注意

リハーサル中に **START-ID** が速く点滅しているときはスタートIDは記録できません。

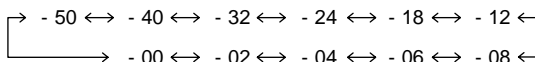
ご注意

録音中に記録したスタートIDと、確定したスタートIDは位置を変えることはできません。位置を変えたいときはスタートIDを消してから記録し直します。

ちょっと一言

- 指定した場所は、前後で最大約10秒ずつずらすことができます。

- RESET・+またはCOUNTER・-ボタンでレベルを選ぶ。押すごとに次のように変わります。



- 希望のレベルを選んで、CLOCK/SETボタンを押す。設定が確定され、クロック表示に戻ります。

□ 再生中に記録する

録音した音声を消さずに、希望の位置にスタートIDを記録できます。

- START ID・MODEボタンを繰り返し押し、本体の表示窓に「AUTO-ID」を表示させるか、何も表示が出ていない状態にする。
- 再生中に、記録したいところでSTART ID・ENTERボタンを押す。

START ID・ENTERボタンを押したところから3秒間分を繰り返し、最高16回再生します。(リハーサル機能)

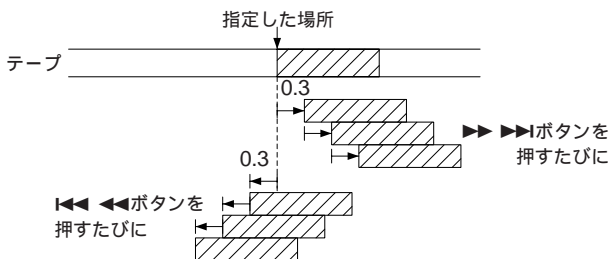


- 繰り返し再生中、もう一度START ID・ENTERボタンを押す。

「WRITE」が一瞬点灯、**START-ID** が点滅し、スタートIDが記録されます。その間、音は聞こえなくなります。

指定した場所が希望の位置とずれているときは

リハーサル中に▶▶▶▶または◀◀◀◀ボタンを押します。0.3秒ずつ移動します。



ご注意

スタートIDを消すと、同じ位置に記録されているプログラム番号も消えます。

□ スタートIDを消す

録音した音声を残せずにスタートIDを消すことができます。操作は停止、再生中に行ないません。

- 1 ▶▶▶▶または◀◀◀◀ボタンで、テープを消したいスタートIDの位置より先にセットする。
- 2 START ID・MODEボタンを繰り返し押し、本体の表示窓に「ERASE」を表示させる。
- 3 START ID・ENTERボタンを押す。
自動的にテープが巻き戻され、すぐ前のスタートIDを探し始めます。スタートIDを見つけると **START-ID** が点滅し、消去を始めます。この間、音は聞こえなくなります。消去が終わると、再生が始まります。



□ プログラム番号をつける

プログラム番号とは、プログラム(曲)に番号をつける信号です。スタートIDと同時に記録されます。

テープのはじめから録音するとき

スタートIDが書き込まれると同時に、自動的に1から順に記録されます。

テープの途中から録音するとき

▶▶▶▶または◀◀◀◀ボタンでプログラム番号を表示させてから録音を始めます。スタートIDが書き込まれると同時に、次の番号から順に記録されます。

ご注意

他のDATデッキで録音したテープで、そのテープの頭にスタートIDが記録されていると、プログラム番号の記録またはリナンバーが正しくできないことがあります。

プログラム番号を振り直す リナンバー機能

次のような場合は、プログラム番号を振り直す必要があります。

- 再生中にスタートIDを書き込んだ
- テープの途中から録音したため、プログラム番号が重複していたり、記録されていないところがある。
- スタートIDを消したため、同じ位置に記録されたプログラム番号も消され、欠番となっている。

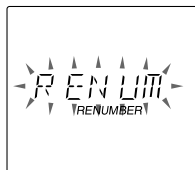
- 1 START ID・MODEボタンを繰り返し押し、本体の表示窓に「RENUMBER」を表示させる。
- 2 テープの再生中または停止中にSTART ID・ENTERボタンを押す。

テープは自動的に頭まで巻き戻され、スタートIDの位置にプログラム番号を1から順に振り直していきます。

プログラム番号の書き換え中は

START-ID が点滅します。

次のスタートIDへ早送りするときには「RENUM」とカウンターが交互に表示されます。



リナンバーが終わると、テープは自動的に頭まで巻き戻され、停止します。

他の機器につないで聞く

アナログ機器やデジタル入力端子のある機器につないで聞くこともできます。
再生のしかたについての詳細は、「再生する」17 ページをご覧ください。

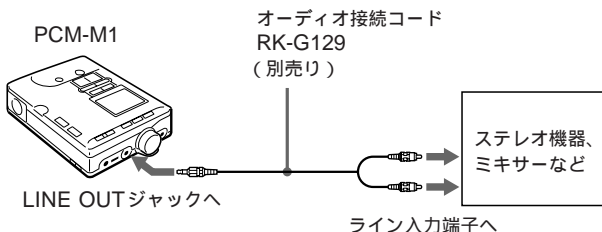
ちょっと一言

LINE OUTジャックや
REMOTE DIGITAL I/O
ジャックから出力されるレベル
は固定です。
本機のVOLボタンを押しても
音量は変わりません。

ご注意

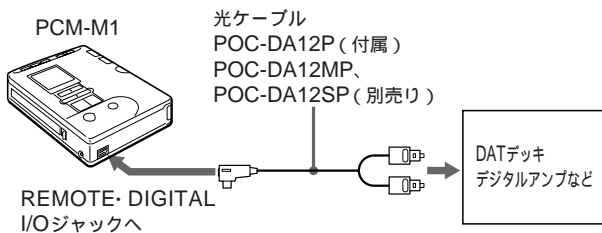
別売りのデジタル接続ケーブルは必ず指定のものをお使いください(48ページ)。デジタル接続ケーブルPOC-DA12/DA12M/DA12S には本機は対応していません。

□アナログ機器につないで聞く



再生を開始し、接続した機器側で音量を調整する。

□デジタル入力端子のある機器につないで聞く



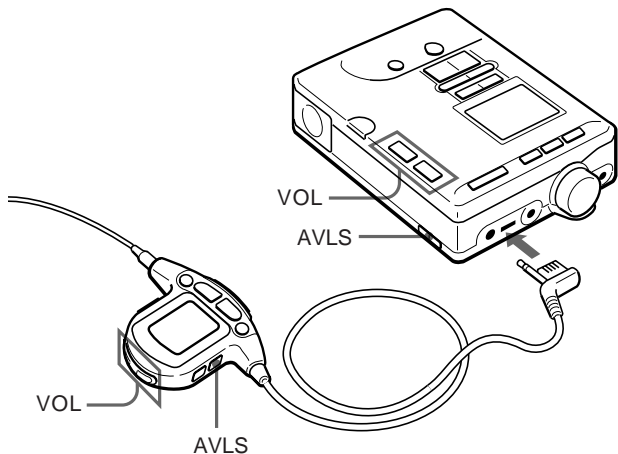
図のようにケーブルをつないだら再生を開始し、接続した機器側で音量を調節します。

再生中の便利な機能

ヘッドホンをつないで再生または録音モニター中は、AVLS*機能を使用できます。

AVLS機能を使うと、音圧が自動的に制御され、ボリュームを上げてても一定の音量以上は大きくなりません。

したがって音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえなくなるなどの危険が軽減されます。



*AVLS

Auto Volume Limiter System の略。

ご注意

AVLSは、本体、リモコンのどちらでも操作できるため、本体のAVLSスイッチをLIMITにした後で、リモコンのAVLSボタンで「☺」表示を消すと、AVLSは解除されません。

□ AVLS を使う

本体、リモコンのどちらでも設定できます。

本体：AVLSスイッチをLIMITにします。

リモコン：AVLSボタンを押してリモコンの表示窓に「☺」を表示させます。

AVLS スイッチ 音量と表示

LIMIT
(☺)

一定音量以上大きくならない
VOLボタンを押すと、「AVLS 表示後」VOL表示になる。

音量を最大にすると「AVLS」が点滅する。

NORM
(表示なし)

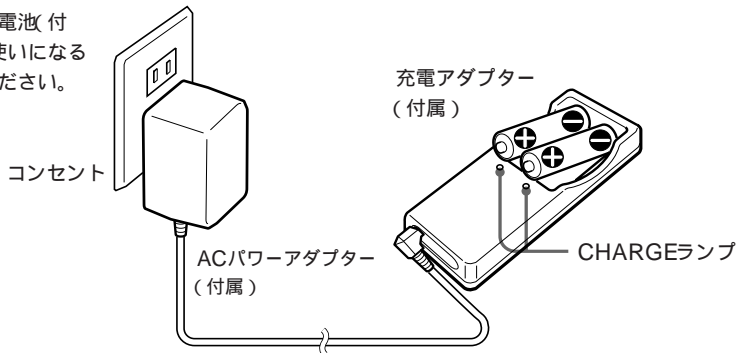
通常の音量
VOLボタンの操作にしたがって音量が変化し、「VOL」表示が出る。

音量を最大にすると「MAX」が点灯する。

()内はリモコンの表示。

充電式ニッケル水素電池で使う

充電式ニッケル水素電池(付属)を使えます。お使いになる前に必ず充電してください。



CHARGEランプが点灯しないときは

充電式電池をいったん取り出し、入れ直してください。

ご注意

- 充電には、必ず付属の充電アダプターと、付属のACパワーアダプターまたは別売りのAC-E45L(日本国内用)をお使いください。他のものを使うと故障の原因となることがあります。
- 充電中や充電直後にCHARGEランプが赤く点滅したら、充電式電池をはずして確認してください。乾電池や満充電された充電式電池は充電できません。異常がなければ再び充電してみてください。
- 充電終了後は、早めに充電式電池を充電アダプターから抜いてください。長時間入れたままにすると充電式電池の性能を低下させることがあります。
- 充電式電池を持ち運ぶときは、付属のバッテリーキャリングケースに入れてください。ケースに入れずに、キーホルダーなどの金属類と一緒にポケットなどに入れると、電池の+と-がショートして危険です。

- 1 付属の充電アダプターを付属のACパワーアダプターとつなぎ、ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。
- 2 充電式ニッケル水素電池を充電アダプターに入れる。充電中はCHARGEランプが赤く点灯し、充電が完了すると緑色になります。充電時間は約2.5時間です(温度によって多少変わります)。
- 3 本体の電池入れに入れて、ご使用ください。

充電について

- 充電アダプターでは、充電式電池は1本でも2本同時でも充電できます。
- 電池はなるべく使用の直前に充電してください。
- できるかぎり電池を使い切ってから(本体表示窓に「bATTERY」が点滅し始めてから)充電してください。
- 充電中、充電式電池やACパワーアダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 初めて使うときや長時間放置した電池は、持続時間が短くなる場合があります。これは、電池の特性によるもので、数回繰り返し使うことにより充分充電されるようになります。

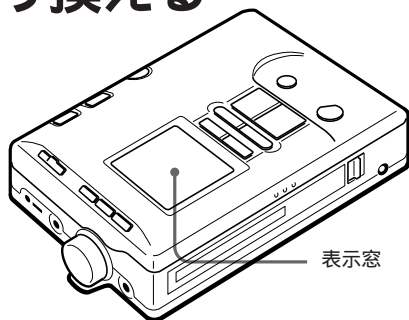
充電式電池の寿命について

- 正常に充電した充電式電池で使用時間が短くなってきたら、充電式電池の寿命ですので新しいものを求めください。
- 使用済みの電池は、端子にテープなどを貼って絶縁してから廃棄してください。

保存について

- 電池は涼しく、乾燥した場所で保存してください。


電池を取り換える



ちょっと一言

- 本機には電源スイッチがないため、電池が入っているときは常に表示が出ていますが、電池の消費は非常に微量です。
- 電池を抜いたまま長時間放置すると、クロック表示は初期設定(97Y11M1D/AM 12H00M00S)に戻ります。その場合は、時計を合わせ直してください。

ご注意

- 電池を抜いても「bATTERY」表示が消えないときは、いずれかのボタンを押して表示を消してください。
- 乾電池と充電式電池は混ぜて使用しないでください。
- 電池の持続時間は、使用温度や電池の種類により、極端に短くなることがあります。また、電池によっては、消耗しても「bATTERY」や「」が表示されないことがありますので、できるだけ推奨の充電式電池(NH-D100)をお使いください。

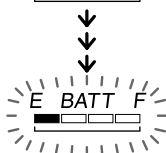
電池の交換時期

本体やリモコンの表示窓の表示でお知らせします。

本体の表示窓



残量は充分です。



電池を2本とも新しいものに交換してください。
さらに使い続けると「bATTERY」表示が点滅し、停止します。

リモコンの表示窓




電池が消耗しています。2本とも新しいものに交換してください。



電池が完全に消耗しました。

使用できる電池の種類と持続時間

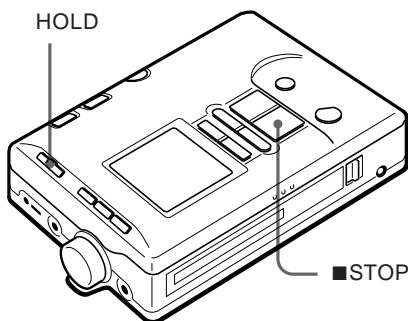
電池の種類	連続再生時	連続録音時
ソニー単3形ニッケル水素 充電式電池	約3時間45分	約3時間 (約3時間30分*)
ソニー単3形アルカリ乾電池	約2時間30分	約1時間30分 (約2時間30分*)

* LINE OUTジャック、REMOTE/ジャック、REMOTE・DIGITAL I/Oジャックに何も差し込まれていないとき、および表示窓の照明がついていないとき。

これらは20℃、LPモードでの連続再生、連続録音の持続時間です。温度が低いところで使用すると電池の容量が低下するため、持続時間は短くなります。

低消費電力モードについて

本機は電池の消耗を防ぐために、停止状態がある程度続くと、自動的に低消費電力モードに切り換わるようになっていきます。



* カセットぶたが開いているときや、低消費電力モード時にCLOCKボタンなどを押したときは、約30秒で低消費電力モードになります。

ご注意

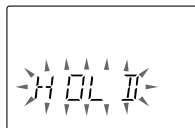
REMOTE・DIGITAL I/Oジャックにデジタル接続ケーブルを接続したままにしておくと、電池が早く消費されます。使わないときははずしておいてください。

自動的に低消費電力モードになります

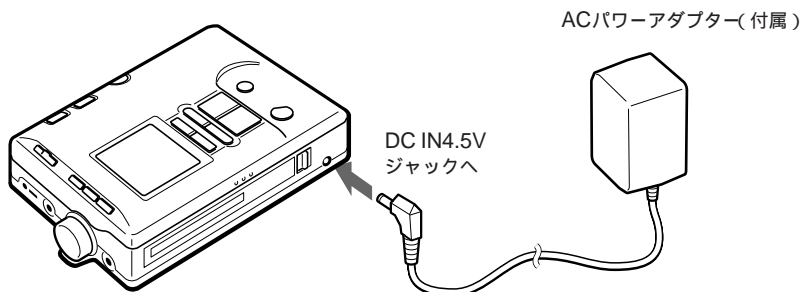
通常停止状態が3分*以上続くと、自動的にテープのセット状態が解除(UNLOAD)され、低消費電力モードになります。低消費電力モードになると時計表示になり、照明も消えます。リモコンでは、液晶表示が消えます。

手動で低消費電力モードにするには

- 1 停止状態を確認する。
一時停止状態になっているときは、■STOPボタンを押します。
- 2 本体のHOLDスイッチをずらして黄色のホールドマークが見えるようにする。
低消費電力モードになります。
この状態でボタンを押すと、「HOLD」が約3秒間点滅します。



家庭用AC電源や車で使う



ちょっと一言

- DC IN 4.5VジャックにACパワーアダプターやカーバッテリーコードをつなぐと、電池が入っていても自動的に外部電源に切り換わります。
- 本機をACパワーアダプターやカーバッテリーコードなどで長時間お使いになると、本機内部の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 家庭用電源やカーバッテリーで使用中は、停止状態が10分以上続くと、テープ保護のため自動的にテープのセット状態が解除 (UNLOAD)されます。

□ 家庭用AC電源で使うには

付属の AC パワーアダプターを DC IN 4.5Vジャックにつなぎます。

ACパワーアダプターについてのご注意

- この製品には、付属のACパワーアダプターをご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

- 電源(電池、ACパワーアダプター)は、必ずカセットぶたを閉めてから抜いてください。カセットぶたが開いたまま電源を抜くと、カセットぶたが閉まらなくなることがあります。そのような場合は電源を入れ直してください。

□ 車で使うには

別売りのカーバッテリーコードDCC-E245をDC IN 4.5Vジャックにつなぎます。詳しくはDCC-E245の取扱説明書をご覧ください。

その他の機器をつないで使う

本機に別売りの機器をつないで使用するとより便利にお使いいただけます。

RM-D100K 使用時のご注意

- 本機は家庭用AC電源でお使いください。電池で使用すると、ワイヤレスリモコンが正常に動作しなかったり、正常なデジタル入/出力ができなくなります。
- RM-D100K は蛍光灯などの光源から離してお使いください。誤動作の原因となることがあります。

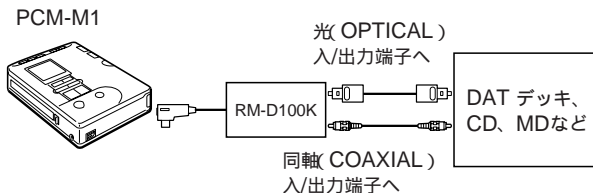
SBM-1使用時のご注意

SBM-1をACパワーアダプターで使用しているとき、SBM-1の電源をOFFにすると本機から電源が供給されません。本機を電池で使用していると、電池が消耗してしまうので、SBM-1からACパワーアダプターを抜いておくことをおすすめします。

□ アダプターキットRM-D100Kをつないで使う

RM-D100K は、本機とデジタル入出力端子のある機器の中継機としておもに使います。

RM-D100K は光ケーブルと同軸ケーブルの入/出力端子を持っています。接続する機器の端子に合わせて接続してください。



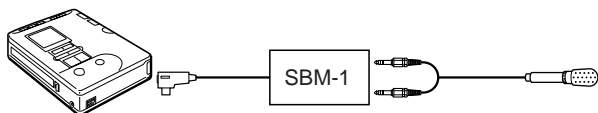
RM-D100Kをつなぐと

お手持ちのオーディオタイマーと組み合わせてタイマー録音・再生ができたり、付属のワイヤレスリモコンで、ミュージックキャンやダイレクトサーチなど、様々な機能が使用できます。

□ スーパービットマッピングアダプターSBM-1をつないで使う

SBM-1をつなぐと、従来よりさらに高音質で録音できます。

PCM-M1



ワイヤードリモコンRMT-D100(別売り)をSBM-1につないで操作することもできます

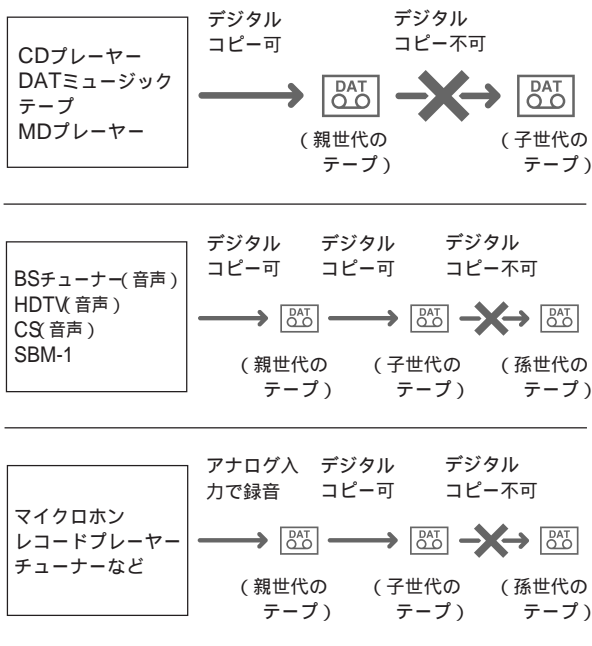
ただし、SBM-1を乾電池で使用しているときは、SBM-1の電源をOFFにするとRMT-D100を使って操作できません。SBM-1をACパワーアダプターで使用しているときは、SBM-1の電源ON/OFFにかかわらず、RMT-D100で操作できます。

シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)について

民生用DATなどのデジタル録音システムで、CDプレーヤーなどのデジタル出力端子から出力されるデジタル信号を、少なくとも1世代はデジタル録音(デジタルコピー)を可能にする方式です。

ご注意

SCMS方式に対応していない機器を使用して録音した場合は、これらの原則が当てはまらないことがあります。



その他

メッセージ一覧

本機動作中に次のメッセージが本体表示窓に表示されます。

メッセージ	意味
<i>NO TAPE</i>	カセットが入っていないとき点灯
<i>OPEN</i>	カセットぶたが開いているとき点滅
<i>LOAD</i>	テープロード時点滅
<i>UNLOAD</i>	テープアンロード(取り出し)時点滅
<i>NO INPUT</i>	デジタル信号が入力されていないときに点灯
<i>TAPE PROTECT</i>	カセットの誤消去防止ツメの孔が開いている状態で、●RECボタンを押したとき、または、スタートIDを再生中に記録しようとしたとき、 <i>TAPE</i> 、 <i>PROTECT</i> が交互に点灯
<i>HOLD</i>	本体のホールド機能を働かせたとき、一瞬点滅 ホールド機能が働いているときに、他のボタンを押すと約3秒間点滅
<i>TOP</i>	テープの頭で点滅*1
<i>END</i>	テープの終わりで点滅
<i>EE END</i>	エンドID*2 検出時点灯
<i>BLANK</i>	再生時または早送り時、未録音部分検出時に点滅
<i>MIC in</i>	マイク録音中(録音一時停止、録音モニター時も含む)に●RECボタンを押し続けたとき点灯
<i>LINE in</i>	アナログライン入力から録音中(録音一時停止、録音モニター時も含む)に●RECボタンを押し続けたとき点灯
<i>DIGITAL</i>	デジタル接続で録音中(録音一時停止、録音モニター時も含む)に●RECボタンを押し続けたとき点灯
<i>WRITE</i>	スタートIDの記録を開始したとき一瞬点灯
<i>REHEARSAL</i>	再生中にスタートIDを記録するとき、リハーサル機能中に点滅
<i>ERASE</i>	スタートIDを消すとき点滅
<i>RENUM</i>	プログラム番号を振り直す(リナンバー機能)とき点滅
<i>AVLS</i>	AVLSを働かせたとき、またAVLSが働いているときにVOLボタンを押したときに点灯

メッセージ	意味
<i>MAX</i>	音量が最大のとき点灯
<i>MIN</i>	音量が最小のとき点灯
<i>bATTERY</i>	電池消耗時点滅
<i>ID</i>	再生・再生一時停止中: テープに記録されたコピー情報を示す。 録音・録音一時停止中: これからテープに記録されるコピー情報を示す。 00: 何回でもコピーできる、10: デジタルコピー不可、11: 1回だけデジタルコピー可能、--: 停止時に表示
<i>DEW</i>	結露が起きたとき点滅、低消費電力モード時は点灯

*1 新しいテープをはじめて使うときも点滅します。

*2 エンドIDとは、録音終了位置を示す信号です。本機で記録することはできませんが、あらかじめ記録されているテープの場合、それを検出することはできます。テープを早送り中エンドIDを検出すると停止し、録音以外のテープ操作でテープを先に進めることはできません。

故障かな？と思ったら

機械の調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前にもう一度取扱説明書をお読みになり、次のような点検をしてください。

症状	原因	処置
カセットぶたが閉まらない	カセットぶたを開けたあと、すぐに電源を抜いた	電源を入れ直す
操作できない 動作しない	ホールド機能が働いている	操作する側(本体またはリモコン)のホールド機能を解除する
	電池が消耗している(「bATTERY」が点灯)	乾電池は2本とも新しいものと交換し、充電式電池は充電する
	外部電源使用時、ACパワーアダプターが正しく接続されていない	正しく接続する
	結露が起きたため安全装置が働いている(「DEW」が点滅または点灯)	しばらくの間そのまま放置し、再度電源を入れ直す
	上記以外の原因	一度電源を抜き、再度入れ直す
テープが動かない	一時停止状態になっている(■が点灯)	解除する(15、17ページ)
	テープが最後まで巻き取られている	<ul style="list-style-type: none">• ◀◀◀ボタンでテープを巻き戻す• 新しいテープと交換する
録音できない	カセットの誤消去防止ツメの孔が開いている	孔を閉じる(13ページ)
	接続されている機器の接続/操作が間違っている	各機器の取扱説明書を見て正しく接続/操作する
入力される音がひずむ	マイク録音時、音源の音量が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none">• MIC ATTスイッチを20dB側にする• マイクロホンを音源から離す
	MIC/LINE INスイッチの設定が合っていない	音源、接続に合わせる
	録音レベルが大きすぎる	録音レベルを調節する(マニュアル録音)(22ページ)
録音中「ピー」という音がする	ヘッドホンやスピーカーで録音中の音を聞いているとき、ヘッドホンやスピーカーがマイクロホンと近すぎる	ヘッドホンやスピーカーをマイクロホンから遠ざける
録音したテープに音が入っていない	ステレオ機器、ラジカセなどから録音するとき、録音レベルがいっぱいにしぼられていた	録音レベルを調節する(22ページ)

症状	原因	処置
雑音が多い、音質が悪い	ヘッドが汚れている	付属のDAT用クリーニングカセットでクリーニングする
	テープが正しく録音されていない	<ul style="list-style-type: none"> • DAT用クリーニングカセットでヘッドをクリーニングしてから録音し直す • テープをいったん終わりまで早送りし、再度頭まで巻き戻してから、録音し直す
音が出ない	音量がしぼられている	音量を調節する
	接続されている機器の操作が間違っている	録音、再生に応じた正しい操作をする
	ヘッドが汚れている	付属のDAT用クリーニングカセットでクリーニングする
ヘッドホンからの再生音がひずむ	音量が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none"> • 音量を下げる • AVLSスイッチをLIMITにする(33ページ)
音量調節ができない	ホールド機能が働いている	解除する
頭出し(AMS)ができない	テープにスタートIDが記録されていない	スタートIDを記録する(26ページ)
再生中、突然テープが止まる	未録音部分がある	
時計表示が97Y11M1D/AM12H00M00Sになってしまった	電池を抜いて長時間放置した	時計を合わせ直す(11ページ)
スタートID、プログラム番号が記録できない	カセットの誤消去防止用ツメの孔が開いている	孔を閉じる(13ページ)
スタートIDは記録されるが、プログラム番号が記録されない	テープの途中から録音するとき、最後のプログラム番号を表示させずに録音した	テープの途中から録音するときは、プログラム番号を表示させてから録音する
スタートIDを記録中、テープ操作ボタンが働かない	スタートIDを記録中は、 ■STOPボタン以外は働かない	START-ID の点滅が終了してから操作する
アブソリュートタイムが記録できない	録音済みのテープの途中から録音し、未録音部分をつくってしまった	録音部分の最後(未録音部分の手前)を探し、そこから録音し直す(14ページ)
電池の持続時間が短い	使用温度や電池の種類によっては持続時間が極端に短くなる	推奨の充電式電池(NH-D100)を使う
充電が始まらない(CHARGEランプが点灯しない)	充電式電池を充電アダプターに入れてから、電源をつないだ	いったん充電式電池を取り出し、入れ直す

使用上のご注意

□ 長時間テープについて

大事な録音をする場合には120分以下のテープをお使いください。120分を超える長時間テープは、以下のように正常に動作しないことがあります。


- 音質が悪くなってしまう。
- キュー/レビュー、AMSサーチ、早送り/巻き戻しなどを繰り返すとテープスピードが不安定になってしまう。
- スタートIDが誤動作してしまう。

□ 正しく録音するために

大事な録音をする場合には、いったんテープの終わりまで早送りし、再度頭まで巻き戻してから録音を始めてください。テープの巻き乱れや堅巻きで正常に録音できないことがあります。

□ 結露について

寒いとき、部屋の暖房を入れた直後など、急激な温度変化のために、内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。

そのままではテープが内部の部品にはりつき、正常に動作しないばかりでなく、テープや部品をいため、故障の原因となります。本機にはこれを防ぐ安全装置がついていますが、本体表示窓に「DEW」が点滅したり、リモコン表示窓に表示が点滅したら、カセットを取り出してください。本機は低消費電力モードになり、「DEW」が点灯しつづけます。しばらく放置した後、以下のようにして状態を確認してください。

電池使用時

操作ボタンを押して、本機を立ち上げてください。結露が回復していれば、「DEW」が消えます。

外部電源使用時

結露が回復すると自動的に「DEW」が消えます。

もし何時間たっても正常に動作しない場合は、ソニーサービス窓口にご相談ください。本機をご使用にならないときは、カセットを取り出しておいてください。

□ 置き場所について

本機はデジタル機器ですので、AMラジオやチューナーの近くで使用しますと、AMラジオやチューナーから雑音が出る場合があります。

そのような場合は、本機をAMラジオやチューナーと離してください。

□ 異常や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたときは、すぐに電源を抜き、「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

該当する項目がない、または異常や不具合が直らないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

□ 表面の汚れについて

本体表面の汚れは、中性洗剤を少々含ませた柔らかい布で拭いてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

□ ヘッドのクリーニングについて

長時間ご使用になると、本機内部のヘッドが汚れてくる場合があります。ヘッドが汚れると、正しく録音されなかったり、再生時に音とびなどが起きる場合があります。確実な録音/再生を行なうために、付属のDAT用クリーニングカセットで、10時間走行を目安にヘッドをクリーニングすることをおすすめします。

また、長時間ご使用にならなかったときも、クリーニングカセットを使いクリーニングしてください。

付属のクリーニングカセットの使いかた

- ① クリーニングカセットを録音/再生用カセットと同じように本機に入れる。
- ② ▶PLAYボタンを押してから、約10秒後に■STOPボタンを押す。
- ③ クリーニングカセットをそのまま(巻き戻さないで)取り出す。
- ④ 録音/再生用カセットで録音/再生し、音質をチェックする。

クリーニングカセットについてのご注意

- クリーニングカセットは録音/再生にはお使いにならないでください。
- 続けて5回以上のご使用は避けてください。連続してお使いになると、ヘッド磨耗の原因になることがあります。
- クリーニングカセットはご使用のたびに巻き戻さないでください。テープが終わりまできたら、頭まで巻き戻して同じようにご使用ください。このクリーニングカセットは1回の使用を10秒として約200回ご使用になれます。200回使い終わったら、新しいクリーニングカセットをお求めください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買いあげ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではデジタルオーディオレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名 : PCM-M1
- 製造番号(Serial No.): 本体裏面に記載されています
- 故障の状態 : できるだけ詳しく
- 購入年月日

主な仕様

テープ	デジタルオーディオテープ
録音時間	標準：120分、長時間：240分(DT-120にて)
サンプリング周波数	48kHz、44.1kHz、32kHz
量子化	標準：16bit直線 長時間：12bit非直線
周波数特性(再生時)	標準：Fs48kHz 20Hz～22,000Hz \pm 1.0dB (LINE IN より入力) ：Fs44.1kHz 20Hz～20,000Hz \pm 1.0dB (LINE IN より入力) ：Fs32kHz 20Hz～14,500Hz \pm 1.0dB (LINE IN より入力) 長時間：Fs32kHz 20Hz～14,500Hz \pm 1.0dB (LINE IN より入力)
信号対雑音比(S/N比)	標準：87dB以上、長時間：87dB以上 (1kHz IHF-A、LINE IN より入力)
ダイナミックレンジ	標準：87dB以上 (1kHz IHF-A、LINE IN より入力)
全高周波ひずみ率	標準：0.008%以下(1kHz、22kHz LPF、LINE IN より入力) 長時間：0.09%以下(1kHz、22kHz LPF、LINE IN より入力)
ワウ・フラッター	測定限界(\pm 0.001%W.PEAK)以下

入力端子	端子形状	入力インピーダンス	規定入力レベル	最小入力レベル
MIC/ LINE IN	ステレオミニ	MIC 4.7k LINE IN 47k	MIC 1.4mV LINE IN 500mV	MIC 0.3mV LINE IN 120mV

出力端子	端子形状	出力インピーダンス	規定出力レベル	最大出力レベル	負荷インピーダンス
LINE OUT	ステレオミニ	220	500mV		LINE OUT 10k
REMOTE/ \square		16	87mV	15mW +15mW	PHONES 16

その他

その他の端子	REMOTE・DIGITAL I/O端子(特殊ジャック) 別売りの接続コード、リモートコマンダー、 アダプターキット(デジタル入/出力、リモコン動作、タイマー動作可能)
--------	--

電源・その他	
電源	乾電池アルカリ単3形2本(別売り) 充電式ニッケル水素電池NH-D100 2本(付属) DC IN 4.5Vジャック ACパワーアダプター(付属)使用時： AC100V、50/60Hz 別売りのカーバッテリーコード DCC-E245(12V/24V車用)

消費電力	0.9W
最大外形寸法	約80×117.3×29.2 mm(幅/高さ/奥行き)最大突起部含まず
質量	本体 約290g ご使用時 約395g(リモコン付きヘッドホン、充電式電池、カセット含む)

主な仕様(つづき)

付属品

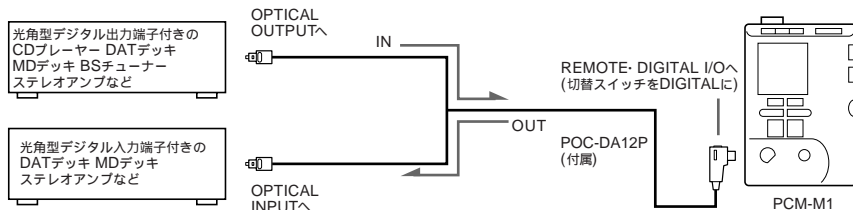
- ACパワーアダプター(1)
- 充電アダプター(1)
- 充電式ニッケル水素電池 NH-D100(2)
- 液晶リモコン付きヘッドホン(1)
- DAT用クリーニングカセット(1)
- マイクロホンプラグアダプター(モノラル標準ジャック×2→ステレオミニプラグ)(1)
- デジタル接続ケーブル(特殊ジャック↔光角型入/出力)(1)
- バッテリーキャリングケース(1)
- キャリングケース(1)
- 取扱説明書(1)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)
- 保証書(1)

別売りアクセサリ

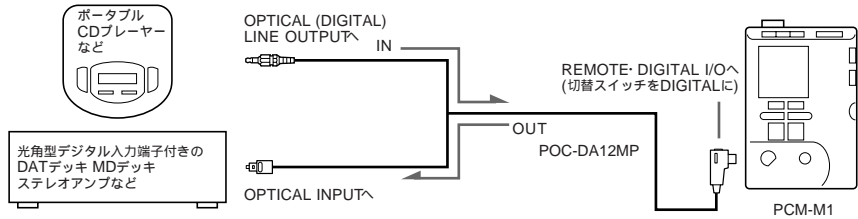
- ACパワーアダプター AC-E45L
- 充電式ニッケル水素電池 NH-D100
- バッテリーアダプターキット NPA-D100K
- カーバッテリーコード DCC-E245
- カーコネクティングバック CPA-8
- リモートコマンダー RMT-D100
- システムアダプターキット RM-D100K
- デジタル接続ケーブル
光ケーブル POC-DA12P(光角型入出力) POC-DA12MP(光角型出力・光ミニプラグ入力)
POC-DA12SP(光ミニプラグ入出力)
同軸ケーブル RK-DA10P(同軸入力)
- オーディオ接続コード RK-G129
- ステレオマイクロホン ECM-MS957、ECM-MS907、ECM-717(プラグインパワー対応)
- ステレオヘッドホン MDR-D77、MDR-D55
- ステレオイヤーレシーバー MDR-E868、MDR-E888
- アクティブスピーカー SRS-A91、SRS-A71
- スーパービットマッピングアダプター SBM-1
- DAT用クリーニングカセット

別売りアクセサリを使ったデジタル接続例

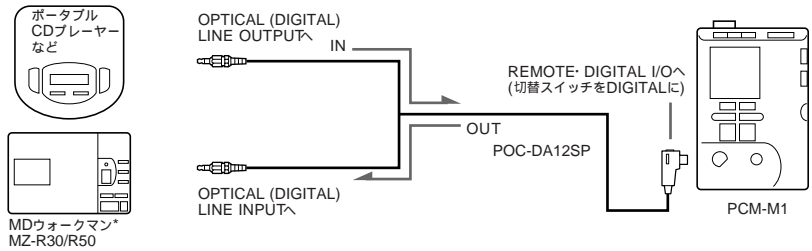
光角型入出力



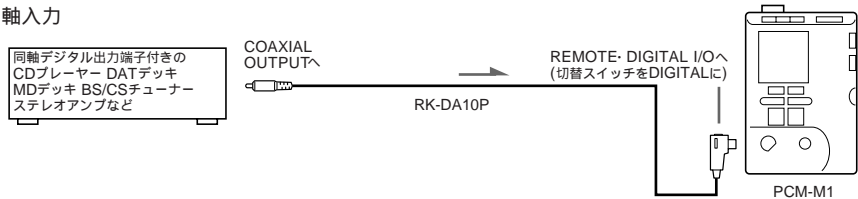
光ミニ入力、光角型出力



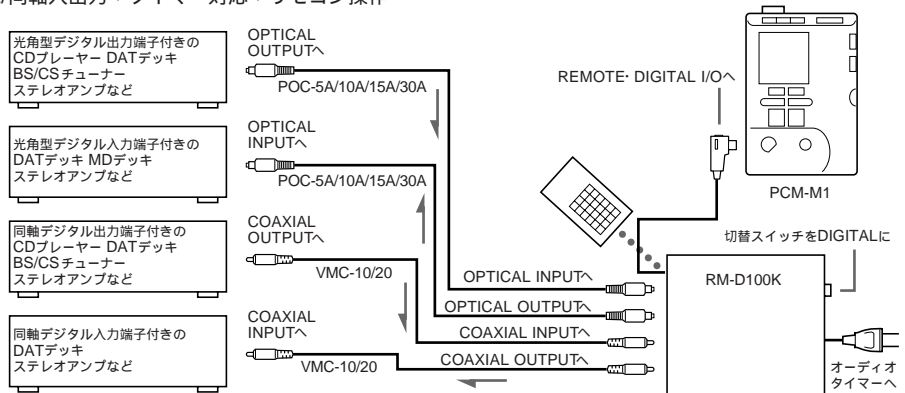
光ミニ入出力



同軸入力



光/同軸入出力 + タイマー対応 + リモコン操作



* MDウォークマンはソニー株式会社の商標です。

索引

五十音順

ア行

頭出し	18
アナログ接続	
再生	32
録音	20
アブソリュートタイム	14
液晶表示窓	7
オートプレイ	19
オートモード	28
オートリワインド	16、17
お手入れ	45

カ行

カーバッテリーコード	37
カウンター	8
各種設定	
オートモード検出レベル	28
コピー情報	25
時計合わせ	11
ピークホールド	23
表示	9
マニュアルモード録音	
開始時の記録	26
家庭用AC電源	37
乾電池	10
入れる	10
交換時期	35
持続時間	35
キュー	18
クリーニングカセット	45
結露	44
故障かな?	42
誤消去防止	13
コピー情報	25

サ行

再生	17
アナログ接続	32
デジタル接続	32
ヘッドホン	17
サンプリング周波数	16、19、20、21
充電	34
充電アダプター	34
充電式ニッケル水素電池	34、35
シリアルコピーマネジメント	
システム	39
スタートID	26
自動記録時検出レベル設定	28
消す	30
再生中に記録	29
自動記録	28
手動記録	26
初めの1回だけ自動で記録	27
録音開始時に記録しない	26
接続	
アナログ接続で再生	32
アナログ接続で録音	20
その他の機器をつなぐ	38
デジタル接続例一覧	48、49
デジタル接続で再生	32
デジタル接続で録音	21
セミオートモード	27
夕、ナ行	
長時間テープ	44
長時間録音	24
低消費電力モード	36
デジタル接続	
再生	32
録音	21

電源

家庭用AC電源	37
乾電池	10、35
充電式ニッケル水素電池	34、35

時計

クロック表示	9
時計合わせ	11

ハ行

バックアップコピー	21
ピークホールド	23
プログラム番号	30
ホールド	13

マ、ヤ行

マイクロホン	16
マイク録音	15
マニュアルモード	26
マニュアル録音	22
メッセージ	40

ラ、ワ行

リナンバー	31
リハーサル機能	29
レックミューティング	24
レビュー	18
録音	14
アナログ接続	20
デジタル接続	21
マイク	15
録音モニター	15
録音レベル	
自動調節	15
手動調節	22

アルファベット順

ACパワーアダプター	37
AGC	15
AMS	18
AVLS	33
DATカセット	13
ERASE	30
ID6 設定	25
LEV SID	28
LOAD	12
LP REC	24
MIC LIMITER	22
RENUMBER	31
RM-D100K	38
RMT-D100	38
SBM-1	38
SCMS	39
SET SID	26
UNLOAD	13、36、37

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311

● Fax …………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金
9:00～20:00

土・日・祝日
9:00～17:00